

わかば

96号

当たり前の日常生活が戻って

ワカバ会会長 三輪田 真 (三田22-6)



新型コロナウイルスの蔓延により4年間続いた行動制限が緩和されてから1年以上が経ち、元の日常生活が戻ってきました。夏にはパリでオリンピックとパラリンピックが開催され、多くの観客の前で白熱した競技が繰り広げられ、日本人選手の活躍に元気をもらいました。無観客だった東京大会を思い出すと、観客がいると盛り上がり方が違うと感じました。これを見るとコロナ禍が過去のものになった感がありますが、国内ではまだ変異ウィルスの流行も続いているので、油断せずに健康に留意して過ごしたいものです。

ワカバ会は今年で設立96年となり、あと4年で100周年になります。コロナ禍を脱して、5月12日には2024年度の総会を久しぶりに母校で開催することができました。昨年までの4年間は書面開催の形で総会でしたが、今年は母校の音楽講堂で総会と懇親会を開催し、卒業後70年(高校6回)から卒業後10年(高校66回)までのホームカミングの会員たち、卒業したての新入会員、一般の会員など、全体で149名の皆さんが参加されました。やはり実際に顔を合わせて集まるのは良いものです。来年以降もさらに多くの皆様に集まっていただけるよう期待しております。

秋は芸術に親しむ季節ですが、今般、洋画家として活躍されている成田禎介氏(高校9回)から作品1点を寄贈いただき、母校の玄関ホールに掲示させていただきました。今号でも8、9ページ「同窓生は今 2024」で成田さんの特集をしています。芸術・文化活動に興味を持つ現役生徒にも良い刺激になるものと思います。

見学会や観劇などの企画行事については、以前にも増して多彩に計画しておりますので、奮って参加されるようお待ちしております。現役の生徒を支援する奨学金制度についても、これまでと同様に丸山記念奨学金と桂葉奨学金の二本立てで給付を継続しております。経済的に厳しい現役生徒を援助するとともに、部活や対外活動の支援をすることにより、高校生活が充実したものとなるよう応援していきたいと思っています。

ワカバ会ではこれまで同様に同窓の皆様の交流の輪を広げる活動を展開してまいります。引き続き皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

日々の積み重ねの大切さ

ワカバ会名誉会長・三田高等学校長 内田 隆志



三田高等学校が昨年100周年を迎えたことや、本年度になって音楽講堂で行われたワカバ会総会で皆様にお会いした事がつい間近のように思われるこの頃ですが、皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

昨年度は卓球部が関東大会へ出場し、コーラス部がNHK全国学校音楽コンクール東京都予選で銀賞を受賞、吹奏楽部が東京都高等学校吹奏楽コンクールにおいて金賞と銀賞を受賞しました。また、ダンス部がDANCE STADIUM夏の全国大会2023において準優勝の快挙を挙げました。そして、本年度も吹奏楽部が東京都高等学校吹奏楽コンクールにおいて金賞とブロック最優秀賞を受賞し、水泳部が東京都国公立大会団体優勝となり、ダンス部も第17回日本高校ダンス部選手権東京都大会ビッグクラスAブロック優勝となり、全国大会準決勝に出場しました。様々な部活動が日頃の活動を大切にしながら、学校生活を充実すべく努力しています。また、今年も5月21日、抜ける青空と輝く日差しの下、駒沢第一球技場にて工夫を凝らした体育祭が実施されました。日本列島に大きな台風が来る中、短い時間ながら準備し、創意を凝らし、9月7、8日には白珠祭が開催されました。いずれも三田高生による実行委員会の努力が光り、日常の学校愛があふれる行事となりました。

9月18日には2年生の課題研究中間報告会がポスターセッションの形式で行われ、大学の先生方や大学院生による指導助言を受け、閉会式では訪問された都立中央図書館の尾木直樹名誉館長からの講評もいただき、実りあるものとなりました。本年度は現行の学習指導要領が完成年度を迎え、いよいよ新教育課程初めての大学入試が実施されます。昨年度も卒業生が進路実績で成果を挙げてくれましたが、これも日々の学校生活を大切にしてきた成果であると考えております。教育における不易流行を常に意識しつつも、毎日を大切にする姿勢こそ大切だと改めて感じているところです。今後とも御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年度総会のお知らせ

来年度も対面で総会・懇親会を開催する予定です。

ホームカミング該当年の方には後日ご案内を送付いたします。詳しくは春号でお知らせします。

ホームカミング該当年

第六高女全学年、三田7回生(1955年卒)、三田17回生(1965年卒)、三田27回生(1975年卒)、三田37回生(1985年卒)、三田47回生(1995年卒)、三田57回生(2005年卒)、三田67回生(2015年卒)



☆☆

行事案内

前号(95号)発行時点では未定だったため秋号でのお知らせと
なった行事の詳細です

2024年11月5日(火)より受付開始 10:00着信分より先着順(TEL, FAX, メールにて)

No.	開催日	行事名	開演時間	場所	会費	募集人数	締切
1	2024年 12月13日(金) 	第31回ワカバ会観劇会 東京宝塚劇場 花組公演 三井住友VISAカード シアター ファンタジー・ホラロマン 『エンジェリックライ』 レビュー グロリア 『Jubilee (ジュビリー)』 ◎宝塚歌劇団	13:30	東京宝塚劇場 (日比谷)	S席 9,500円	60名	11月18日
2	2024年 12月25日(水) 	第32回ワカバ会観劇会 ミュージカル『レ・ミゼラブル』 帝国劇場クロージング公演	13:00	帝国劇場 (日比谷)	S席 17,500円	30名	11月18日
3	2025年 3月29日(土)	第34回ワカバ会観劇会 劇団四季「アラジン」	13:00	四季劇場「海」 (新橋、汐留)	14,000円 (3歳以上小学 6年生以下 8,500円)	30名	12月12日

申込受付中

4	2025年 1月10日(金)	第33回ワカバ会観劇会 新春浅草歌舞伎 演目未定 出演：中村橋之助・中村鷹之資・ 中村蒼玉・中村玉太郎・市川染五郎・ 尾上左近・中村鶴松 他	11:00	浅草公会堂	8,500円 (一等席・ お弁当・ お茶付) 通常一等席 9,500円	50名	11月21日
---	-------------------	--	-------	-------	--	-----	--------

※各行事とも締切日後のキャンセルはお受けできません。

行事に参加して

オペラ鑑賞会 「ファウスト」

三田27-6 小嶋 経夫



10年前のドイツ旅行でフランクフルトのゲーテハウスを訪問、前もってゲーテの戯曲「ファウスト」を読んで行ったので、企画委員会主催行事に載っていたオペラ鑑賞会「ファウスト」に興味を惹かれ申し込みました。

またわたしの住んでいる浦安市で、このオペラを公演する藤原歌劇団の折江忠道総監督が講師を務めるオペラ講座「ファウスト」が開かれ、事前に詳しい説明を聴けたのも鑑賞の手助けになりました。

折江総監督の説明通り壮大なグランドオペラで、数多くのキャスト(歌手やバレエダンサー)と大規模なオーケストラや装置の素晴らしい舞台でした。三田高時代音楽クラスでしたが、美術や書道のように道具を持っていかなくてすむという怠惰な理由で音楽クラスを選んだわたしがオペラなんてと笑われそうですが……。

(2024年1月27日実施)

第21回同窓会ギャラリー

(敬称略・順不同)

今年も同窓会ギャラリーは9月10日から9月17日までホームページ上で開催しました。

ワカバ会ホームページ「トップページ」➡「企画行事」➡「第21回同窓会ギャラリー作品」よりアーカイブで閲覧いただけます。



三田19回生 中川 (川北) 未知子
水墨画
国宝「三徳山三佛寺投入堂」(20号)



三田12回生 鈴木 茂晴
デジタルアート



三田25回生 影井 良貴
写真
左「あなたへの依頼事項は(1)」
右「あなたへの依頼事項は(2)」



三田28回生 前田 (中嶋) 乃扶子
桐小笠



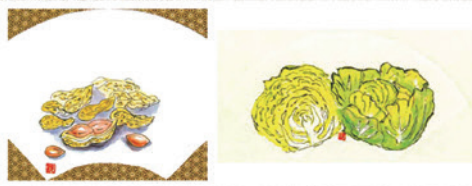
三田19回生 片山 (中山) 優子
着物リメイク
「ワンピース」



三田16回生 田原 和男
水彩画・写真
左「四谷駅麹町口前」
右「オーロラ アラスカ フェアバンクスにて」



三田28回生 引間 (和田) 幸子
草木染のスカーフ



三田28回生 遠山 (波田野) 順子
水墨画 色紙
左「ひとつ食べたら止まらない」
右「ふわふわバリバリ旬の味」



三田74回生 内海 楓
切絵の靴



三田39回生 瀧澤 (小島) 直美
カルトナーージュ
「MERCERIE de paris」



三田32回生 小幡 (平田) 則子
シャドウボックス
「アヒルと花を摘む少女」
(W65cm×H75cm×D9.5cm)



三田44回生 菅谷 (吉岡) 理恵
生け花



三田26回生 田澤 (吉村) 恵子
シャドウボックス
「マジックアワー」
(W70cm×H49cm×D10cm)

行事に参加して

共立講堂に響く、 ちよだ芸術祭の第九!!

三田46-1 志田 雄啓 (ワカバ会理事・
ちよだ芸術祭芸術監督)



ちよだ芸術祭は子どもから高齢者まで、すべての世代の皆様幅広く良質の音楽をお届けしようという方針のもとに活動を行う地域密着型の芸術祭です。世界で活躍する指揮者、室内楽、芸大出身のオペラ歌手を参加アーティストとして迎え、コンサートホールのみならず、学校や老人ホームでの訪問演奏や、公募の合唱団の運営、指導を行う事により、良質の音楽を身近に楽しんでもらう活動をしています。来年2月23日には、共立講堂にて合唱団員を公募し、ベートーヴェンの第九を演奏致します。9月よりちよだ芸術祭ホームページ(<https://chiyoda-artfes.com>)にて、第九合唱団の募集を行っています。共立講堂の大ホールで、プロの室内楽の伴奏で、国際的な指揮者の下、貴重な音楽体験を試みませんか?

ワカバ会の皆様のご参加、心よりお待ちしております!!

(2024年2月25日実施)



アナと雪の女王を 観劇して

三田31-4 中村 美佐子 (中島)

鳴らす様な可愛らしい歌声、アナの透き通った歌と天真爛漫の演技、エルサの凛とした歌と芯のある強い姿に魅了され、素直に感情移入し、感動の嵐でした。氷の魔法も一瞬で飛び出したり、場面も何度も変化したり、舞台装置の素晴らしさは一見の価値がありました。楽曲も生演奏で迫力があり、劇団四季に元気を貰った気分です。楽しませていただきました。たくさんの素敵な企画をしてくれるワカバ会に感謝です。一緒に観劇した方にも、高校の同窓会の行事なのと、自慢しました。また、ぜひ、企画に参加させていただきます。

アナと雪の女王は、アニメ映画を見て知っていましたが、少し子供向けかなと思っていました。でも、劇団四季のミュージカルは、大人も新鮮な気持ちで、その世界に惹きこまれる作品でした。子役の鈴を



©Disney 撮影:阿部章仁

(2024年3月9日実施)

ハリー・ポッターの 魔法を体感!

三田52-3 後藤 優里子 (金子)

ポタシリーズ」にも夢中になりました。

そして心待ちにしていた3月29日。赤坂ACTシアターにて上演された舞台「ハリー・ポッターと呪いの子」は、驚きの演出に満ち溢れていました。次々と展開されるステージ上の仕掛けは、まさに物語で描かれていた魔法そのもの!登場人物たちが宙を舞い、モノが浮かび回る!いまの仕掛けは?と考える暇を与えないままストーリーは目まぐるしく展開し、そのスピードと臨場感に圧倒されっぱなしの4時間(!)でした。

素敵なイベントを企画してくださり、本当にありがとうございました。ぜひまた親子で参加させていただきたいと思います。

(2024年3月29日実施)



歴史を巡る旅

～東洋のリヴィエラ真鶴を歩く～

三田24-5 西上原 節子 (三輪)
(ワカバ会副会長・『歴史を巡る旅』企画幹事)

家と家との間にある人の気配のする路地「背戸道」という散策路を、梅雨の暑い晴間に、観光協会の方の丁寧な説明で一日を過ごした。

中川美術館でも学芸員の話聞き小松石の宝庫の真鶴を後にした。

(2024年7月2日実施)



海の風景



西の道祖神



真鶴港



中川美術館にて

凛として美しく

三田28-4 荒川 みどり

た立花繭子さんが出演される。実はその2週間前に、同じく同期の中嶋乃扶子さんの個展で津賀寿丈の肖像二幅、稽古中の凛とした若々しい姿と、袴をととのえて舞台に向う清々しい立ち姿を拝見しており、実際の立花さんの演奏も大変楽しみだった。

会は、若い演者の初舞台とのことで、津賀寿丈は若手を導くように力強く演奏を支えていらっしかったが、その姿も画のように凛然と美しく感動的であった。

私は生で義太夫の演奏を聴くのは初めてだったが、始めてみると、グループという言葉を使ってよいかどうか、自然にリズムに乗せられていく心地よさを味わうことができ、素晴らしい一時となった。



©一般社団法人義太夫協会

(2024年8月31日実施)

ワカバの輪

喜寿を祝う同期会に参加して

三田19-2 齊藤 久恵(阿部)



令和6年6月2日、楽しみにしていた同期会に参加しました。会場は、有楽町駅前のレストラン。学校で買った映画の券を持って、「戦争と平和」や「アンナ・カレーニナ」などを見に行っとなつかしい駅です。参加者は60余名。あれから60年近く経って、今や連絡はメール。本当に時代の変化を感じます。

今回は、特別な企画もなかったので、最初から最後までオシャベリ。その分多くの方と話しをすることができました。だんだん辛い事の多くなる年令ですが、さすが「三田女子」。みんな趣味やライフワークにと、とても積極的。最近落ち込み気味の私も会の終わる頃には、すっかり元気になりました。

「皆の健康と次会の再会を願い」釘貫さんの一本締めで終了となりました。

卒業以来こんな素敵な会をずっと続けてくださっている幹事の皆様に感謝します。

24回生古希同期会を 2024年3月13日に開催しました

三田24-6 小山 亮平(幹事代表)



24回生同期会は卒業以来10年毎に実施して来ましたが40年目はコロナ禍の中、開催は厳しいと判断して延ばして来ましたが、しかし今年同期が70歳を迎え次の10年後では開催が困難になると考え前回より12年経過しましたが古希同期会として開催しました。丁度100名の同期がお茶の水ガーデンパレスホテルに集まり、古希同期会を開催できました。

以前の同期会では色々企画をやってきましたが、そうした企画はやめて今後の同期内でのコミュニケーション・交わりを深めるきっかけ作りを狙って「雑談」を中心とした会の構成にしました。最後は幹事のコメントもそこそこにエールで会を閉じました。

まだこれから色々な集まり等が始まることを期待しています。早速今回の同期会の幹事、15名で幹事の慰労会の実施が決定していて幹事一同非常に楽しみにしています。

なお今回も会の告知などではワカバ会に大変お世話になりました。今後とも卒業生を繋ぐハブとして益々盛んなワカバ会であることをお祈りしています。

三田26回生同期会開催報告

三田26-5 藤田 俊一(幹事代表)



コロナ禍で延び延びになって、やっと開催できた同期会は奇しくも卒業50周年だ。50周年とは、なんという甘美な響き。でも、70も近いから少したそがれ来てるかも。

90余人集まった6年ぶりの顔、顔、顔。いや、50年ぶりの顔もある!あれは誰だ? あっ、おまえか。手を握りしめ、肩を抱き合えば、ティーンエイジの顔がヨミガエル。お前と俺、あなたと私、白珠の学び舎にワープする。狭いグラウンドを走り回り、無人の講堂で陽水をうたい、温水プールに飛び込んだ。化学実験室で試験管をぶっ飛ばして、時計台によじ登ったね。みんなと三田でいっしょの時間を過ごせて良かったよ。

今日は、みんなに会えてほんとにうれしかった。悲しいけれど、いなくなっちゃった仲間もいる。だから、みんなは元気でいてくれ。また、同期会を企画するから、その時もおんなじ顔で集まろう。



成田禎介さん(三田9-6)
日展特別会員、示現会理事長
—ワカバ会事務局にて—

特集

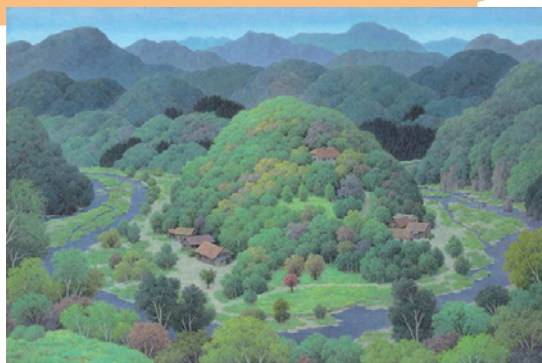
同窓生は今

2024

成田禎介さん(三田9-6)

三田高校の玄関ホールを抜けると左手にオセンチ山が目に入ります。「旧校舎の頃はこの玄関ホールの辺りもオセンチ山が広がっていて緑が綺麗だった」という話をよく聞きます。都会のど真ん中の高校でこれ以上緑を望むことは贅沢…しかし、今夏、玄関ホールに美しい緑の風景が広がりました。

三田9回生の画家の成田禎介さんが描かれた「川のみえる風景」(2022年制作)という120号(193cm×130cm)の大きな油絵が飾られたのです。まるでオセンチ山が蘇ったようです。この油絵は成田さんがワカバ会に寄贈してくださったもので、内田校長先生にもご協力いただき、玄関ホールに飾られました。今回は、この油絵の作者であり、日展特別会員、示現会理事長を務められる成田さんにお話を伺いました。



『川のみえる風景』(2022)

高校時代は美術部で活躍、奥様との出会いも

—三田高での思い出教えてください。—

もともと目黒区に住んでいて目黒の中学に通ってました。高校進学時に六本木に転居することになり、中学の先生に勧められて三田に進学しました。

龍土町(国立新美術館そば)に住むことになったので、赤羽橋まで都電で通ってました。

当時の六本木は米軍基地や自衛隊がありましたが、今と違ってがらんとしました。

高校では美術部でした。美術部は部員も多く、活発でしたね。1年生で部長になり、学校の講堂で展覧会を企画し、ギャラリーを作っちゃったんですよ。先生には怒られましたけどね(笑)。

—奥様も同じ美術部だったそうですが—

はい。学年は違いましたが、一緒でした。彼女はそれほど熱心じゃなかったなあ(笑)。美術部で夏にキャンプに行ったりしましたが、お付き合いはしていません。ただ、嵐の日にたまたま都電で一緒に帰る機会があり、その時に「将来、こうゆう人と一緒にいるんじゃないかな」とフツと感じたことがありました。卒業後も学年も違うし特に交流があったわけではありませんでした。でも、なんとなく仲間関係で行き来があり、それで何となく…不思議ですね。同窓生で一緒にいるなんてね。思い出が共有できるのはいいですね。

今回、油絵をご寄贈くださることになったきっかけを作ってくださったのも奥様でした。奥様の同期の友人の「せっかくの素敵な絵をアトリエに置いておいては勿体ない。母校の方々に見ていただいたら?」の一言から始まり、ご寄贈くださることになりました。

ご理解があったご両親

—卒業後に美術の道に進まれたのですか—

高校卒業後、青山絵画研究所に通い、小川伝四郎先生のもとで学びました。その後、講師をして、示現会、日展へと通じます。この道でやってこられたのは両親に理解があったことが大きいと思います。就職しろ、とか何もいわれず、やりたいことをやっていた。お勤めしたこともないんですよ。不安もなく、のほほんとよくやっていたな、と思いますね。

30代に入った頃、フジテレビギャラリーで初個展を開いたのが始まりですかね。その後音楽に合わせて絵を紹介するTV番組『ミュージックギャラリー』に出演したりしました。三田佳子さんが司会で、ゲストは弘田三枝子さんでしたね。それまでやってこられたのはやっぱり親の理解が大きかったですね。

静物画から風景画まで

—風景画が多いようですが—

車が好きなので日本中、自分で運転して回りました。初期の頃は海が好きで燈台とか海辺を描くことが多かったです。それがあつた時山に行く機会があり、その時「緑」の綺麗さに気づいたんです。それからは「緑」が気になるようになりました。ヒマラヤにも行きましたよ。登山するのではなく、下から見た風景ですね。

だんだん「緑」の作品が多くなりましたね。

静物も並行してやっています。人物も描きますよ。前に舞妓さんを描きに京都に通ったこともあり。実際のお茶屋さんで仲間と一緒に金を出し合っ。舞妓さんが休憩時間に廊下に現れた時、ぱつと花が咲いたような美しさにはっとして、描きたい!と思いました。



『小さな港』
(1963)
初期の頃の作品



『舞妓』
(1985)

寄贈してくださった油絵「川のみえる風景」

—今回ご寄贈くださった「川のみえる風景」も美しい緑ですね—

近所の風景なんです。相模原、丹沢の方ですね。この川は道志川といいます。たまにたまたま出会った地元の景色です。川と民家(集落)の姿が素朴な感じで、地元でもこんな風景があるのかと思って。出会いですね。スケッチは2時間くらいかな。現場は偶然みつかるもんなんです。このときもたまたま高いところに道があってそこから。今ならドローンなんか使うんでしょうけどね。



玄関ホールに飾られた
『川のみえる風景』

「緑」に対する思い—死ぬまで勉強

1つの絵の制作期間は3か月くらいかな。4月の示現会の展覧会に向けて、1月～3月に、日展は10月末だから8月～10月に制作にかかります。新たに1から始める場合もあるけど、過去の資料もいっぱいあるから今まで描いたものにさらにチャレンジを加えたり、なんかイメージが違うなと思って描き直したものもあります。同じ場所を今のイメージに合わせて改めて描くこともある。同じ場所でも全然違う作品になります。

「緑」に対する思いは強いですね。実際の色に近く描く良さを意識していたんですが、「写す」というより、自分なりに変化を加えてみたいと思っています。「緑」の研究、常識を超えた「緑」を何とか表現できないかなと思ってます。「きれい」だけでない見方ができればいいな、と。

「進化」というより自分なりの「変化」を求めています。今までと同じように「きちんと」はできるけど、それじゃ、満足できない。前の作品をみると面白みがないように感じる。絵を面白くしたいんです。特別なことをするのではなく、リアルさもあつつつ、変化をもたせたい。自分の路線は変わらないけど、死ぬまで勉強ですね。



左は『巖頭の燈台』(1994) 右は『燈台の島』(2021) どちらも同じ場所です

「久しぶりに学校も見たいと思って。私が過ごした校舎ではないけどね。」とおっしゃって、インタビューのために三田高校までお越しくださった成田さん。梅雨明け直後の酷暑の中でも汗一つかかず、涼しげなご様子。背筋もピシッとされてとても若々しいです。最後に若さの秘訣について伺ってみました。

—制作には体力も使われると思いますが、日常で気を付けていることはありますか—

マウンテンバイクで20キロ走ることを日課にしています。でも、今年の元旦に自転車で転倒し、救急車で運ばれてしまいました。肩と足の付け根を骨折です。半月、車椅子生活でした。1か月で退院し、2月末には飛行機で講演会にでかけることができました。さすがに家族には自転車を止められて…。でも、日頃足腰を鍛えていたことで転倒しても大事に至らず、回復も早かったですよ。風を切って走ると、出会いもあるし、刺激になるので自転車はやめられないな、と思っています。

1か月の入院で自然と減量もできたんですよ。10kgも。病院食がよかったんでしょうね。それから体重はキープしています。食事にも気を付けるようになりました。腹八分目じゃ多いそうですよ。腹七分目がいいらしいですよ。

絵画に対してだけでなく、何事にも好奇心と探求心を持たれている成田さん。首相官邸へ貸し出された作品、国会議事堂に収蔵されている作品もあります。東京100景という東京都の企画で神津島の風景を描かれたり、ご活躍の幅は無限です。TV出演された時、ゲストだった弘田三枝子さんの実はファンだったからすごうれしくてね、などと楽しくお話してくださいました。「そろそろ日展の準備をしなくちゃいけないな」と笑顔で語る成田さんの絵画への情熱はまだまだ続くと思えました。



『山と河原』(国会議事堂所蔵)

私の近況

孫と妻と



お孫さんの高校入学式にて

三田6-7 手塚 一郎

私共の長男一家が拙宅の近くに彼等の居を構えていて、高等学校生の孫が時折下校時に拙宅へ寄ってくれます。その時に妻と三人で内外

の諸問題を話し合っています。

例えば国内問題では、自民党議員の裏金問題の岸田首相の優柔不断(岸田首相は小生と同じ大学の後輩で学部まで同じで困惑!?)、山上徹也の一発で、旧統一教会問題と昭和の怪物・岸信介が韓国から同組織導入発覚の件、又、世界中困惑の異常気象の件など等です。

海外問題では、ロシア・プーチンのウクライナ不法侵略の件、イスラエルのパレスチナ・ガザ地区の子供を含む大虐殺の件など等です。

お陰様で来年皐月に馬齢90を迎える老骨ですが、時々孫と古書店巡り等をしています。

文尾で恐縮ですが、ワカバ会会員の皆様の一層のご清祥を祈念申し上げます。 期再見。

近頃の楽しみ



オーロラ 撮影地 アラスカ・フェアバンクス

三田16-6 田原 和男

大学卒業後勤めていた会社を退職し、現在の会社を設立して22年。手術室の医療照明に取付けるハイビジョンカメラや4Kカメラと、それらの制御器製造や、つくばの素粒子研究施設などからの特注品などの設計製造を手掛けています。

三田高を卒業した年の夏に同期の10名弱ほどの仲間達と、西伊豆の雲見に何泊かでテント生活した事がきっかけで、その後今に至るまで39会という名前でコロナ禍以外は毎年定期的に集まっています。

天体観測は小学校の頃からの趣味で、50歳の頃に家建てた時に天文部屋を作り、口径20cmの望遠鏡を設置し一眼レフカメラを装着して撮影を楽しんでいます。また海外へオーロラや南十字星観測にも出かけて夢を叶えました。

ほかに年に2回ほどですが三田の同級生と水彩画描きに出掛け、最近では昨年の夏に購入した電子ピアノの練習も楽しんだりしています。

(※同窓会ギャラリーにも出展してくださいました。P5参照)

穏やかに「生涯現役」を目指して

三田26-7 種田 浩之



三田を卒業して半世紀、ITCの業界で働いて45年が過ぎました。見た目には少し草臥れてはきましたが、まだフルで仕事を続けています。65歳を超えてからも新しい仕事に挑戦。まだまだ負けてはいない、つもりです。

楽しみはゴルフとお酒。先日

も、今年の三田同期会で久々に会った同期女性陣とのラウンドやワインの宴に参加。50年前の同級生とのゴルフや宴席はとても感慨深く、そして楽しい時間でした。楽しさは倍増ですね。

楽しいことといえば、昨年同期で行った、ハラミちゃんコンサートや、友人で行ったUSJ、吉本も新しい発見があり記憶に深く残りました。

来年は70歳で会社を離れることになりましたが、身体が動く間は「生涯現役」で仕事を続けていきたい、と考えて、新しい世界にチャレンジし準備をしています。これからも三田での「縁」を大切に穏やかに過ごしていきたいと思います。

芸道あれこれ40年!



新内流して街中を三味線で弾き歩き

三田36-3 松本 好永

よしながれん(俳優) はやしちやこ 好永蓮(俳優)、林千弥鼓(日本舞踊)、鶴賀伊勢好(新内節※)、松本好永(本名・旧芸名)。これらの名前を使い分けながら生きております。三田高演劇部から始まった舞台芸能への情熱の炎は、様々な雨風に耐えながら灯

され続けており、早いもので40周年を迎えようとしています。

当時は時代劇ばかりの東宝舞台に数多く立ち、ミュージカルにも出たり、最近では「アイドル」さん達とも共演したり。また、役者の嗜みとして始めた日本舞踊と新内節でそれぞれ名前をいただき、仕事もさせていただいています。

他にもピアノ演奏や作曲の活動もあり、恵比寿駅前の盆踊りで毎年流れる「HEY! Mr. EBISU」と「シャンソン・ド・盆踊り」は私の作・編曲です。

…こんなにバリエーションな活動になるとは想定外でしたが、これからもお客様の為に頑張ります!

※新内節(しんないぶし)は、18世紀中頃に江戸で誕生した浄瑠璃(語り歌)の一つ

私の近況

そろそろ、鶴とハクチョウと白雪

三田46-2 岡部 直子(高野)



冬の十勝

小学3年の春。飛行機で初めて観て(いつかここで働きたい!)とときめいた『ムツゴロウ王国とゆかいな仲間たち』。小学5年の春。母がいそいそとつけたドラマを横目でみていたら、いつの間にかそこに暮らす人々や風景に引き込まれ夢中になった『北の国から'87初恋』。

様々な憧れが強すぎて大人になっても旅先に選べなかった北海道。あらまあ、その北海道に暮らしてもう9年!

引っ越し早々の大雪。雪かき道具の勝手が分からず、子ども達の冬靴を買うコツが分からずご近所さんを頼る日々。そんなご近所さん達へのご恩を少しでも返せればと民生委員、社会福祉協議会、消防団、スクールサポーター等で活動。今も(自分が北海道にいるなんて信じられないな)と時々思いながら、冬は白い雪と青い空、そこに白鳥の群れが飛ぶ(時々鶴も)十勝で楽しく暮らしています。

アメリカの田舎オハイオ

三田56-6 門倉 章太



ホッキングヒルズにて
(自宅から車で60分)

私の職場はアメリカ中西部のシカゴから車で6時間、大自然に囲まれたオハイオ州の田舎町にある。自動車メーカーの駐在員として赴任した私の役割は、アメリカ人の部下に技術や開発手法を教えながら教育することだ。TOEIC550点。英語力に不安があったが、着任後数

カ月で不安は払拭された。仕事の価値観の違いから衝突することもあるが、日本人英語を理解し、私と向き合ってくれることに感謝したい。

オハイオにも四季があり、日本よりもはっきり季節を感じる。春には桜やラベンダーが咲き、秋には紅葉が色づく。夏にはリスやウサギが庭を横切り、大自然の中でBBQを満喫。隣人は子供たちに優しく、アジアンヘイトもなく治安も良い。冬に-20℃まで気温が下がり時に50%以上の雪かきに悩まされることは頂けないが、総合的にこのアメリカの田舎オハイオが大好きだ。

「ヒト」への意識を変えた3年間

三田66-5 角田 彩乃



三田高校卒業後は薬学の道へ進み、現在は都内で病院薬剤師として勤務しています。薬剤師の業務は近年、薬剤の在庫管理・調剤といった「モノ」に対する内容から、患者さんへの服薬指導・チーム医療への参画など「ヒト」に対する内容に重きを置

くようになってきました。

初対面の患者さんや視点の異なる他職種と会話し、意見を交わす日々ですが、私自身は元来人見知りで、多人数と関わることに苦手意識がありました。三田高校での出会いや「ヒト」との交流の中で、少しずつ性質を変えていくことができましたが、あの3年が無ければ今の職業に就くことも無かったでしょう。当時の先生方や友人たちに深く感謝しつつ、医療の最前線で治療に貢献するべく、弛まず学習と実践を繰り返して参りたいと思います

三田に戻りたい

三田76-1 吉野 優咲



三田高校を卒業して、早速大学生活を謳歌しています。大学生といたら、大学に通いつつも、バイトをして自由に遊んでいる人たちのことを私はイメージしていました。しかし、いざ大学生になってみると、単位制度に苦しめられたり、片道2時間の道のりを毎日行き来しながらレポートに追

われたりなど、想像を絶する忙しさに「こんなはずじゃ...」とよく思っています。

辛くなると、高校時代を思い出してすでに懐かしく感じている頃に帰りたくなります。そういった思いを、次は提供できる教員になるために、私は教育学部に進学して多くのことを学んでいます。大学での学びで新たに得た知識や経験を深く広げて、自分の目指す教員になりたいと思います。いつか、また違った形にはなるけれど、教育する側として高校に戻りたいです。



第1回 (2023.4.22 14:00~15:10)

各委員会報告、2022年度決算及び事業報告について、2023年度総会(書面)について、会報わかば93号印刷業者前払いについて
臨時理事会 (2023.6.14)

代表理事選任について

第2回 (2023.6.14 14:30~15:30)

各委員会報告、2023年度総会について、2023年度奨学生決定、事務局内椅子買い替えについて

第3回 (2023.9.21 18:00~19:30)

各委員会報告、桂葉奨学金決定者について、三田高校創立100周年記念懸垂幕の寄贈について、本年度の新入会員入会金について、会報わかば94号印刷業者前払金について

第4回 (2023.11.21 18:00~19:15)

各委員会報告、2024年度ワカバ会総会概要について、事務局用スマートフォンの購入について

第5回 (2024.1.25 17:30~18:45)

各委員会報告、2024年度総会日程について、2024年度奨学金(丸山・桂葉)募集要項(案)について、来年度企画行事について、事務局内使用白黒プリンタの買い替えについて、卒業生の江東区長当選の会報掲載希望について、慶弔規定見直しについて

第6回 (2024.3.27 18:00~20:00)

各委員会報告、2024年度予算および事業計画について、2024年度企画行事について、ワカバ会創立100周年に向けた準備について、会報発行回数について、事務局員時給UPについて、会報わかば95号印刷業者前払いについて

委員会報告

総務委員会

- ①本年度ワカバ会総会は、5月12日(日)母校にて5年ぶりの対面開催となりました。ホームカミングも復活し、総会、懇親会とも無事執り行うことができました。
- ②今年度も丸山記念奨学生、桂葉奨学生を募集し、選考委員会において協議の上決定しました。
- ③2017年9月よりトランクルーム事業者へ大田区鵜の木土地(旧駐車場)を賃貸しています。

委員長 西上原節子 (24-5)
平山 孔嗣 (29-2)
青山 真司 (30-3)
嶺 直利 (35-3)
市来陽一郎 (39-4)
鈴木 俊 (47-3)

IT委員会

IT委員会では、ワカバ会の情報システム全般を担当しています。去年3月の卒業生よりワカバ会の入会申込をGoogleフォームで行う方式に変更していますが、今年からは新たに総会の参加申込も従来のハガキからGoogleフォームによる受付に変更いたしました。申込を簡便にするとともに、事務処理の手間低減、通信費の削減を目指しています。今後もセキュリティを確保しつつ、会員の利便性を高める施策を進めていきます。

委員長 小針 淳 (40-3)
田中 浩 (32-5)
諏訪 貴子 (42-7)

広報委員会

広報誌わかばは95、96号を発行しました。この秋号では、絵画を寄贈してくださった9回生の成田氏のインタビューを載せました。

委員長 田中 浩 (32-5)
采澤あさひ (58-7)

会計委員会

会計委員会は、ワカバ会の財務会計業務全般を担当しております。日頃、維持会費の納入に際しましては格別のご協力をいただき感謝申し上げます。

2万名からのワカバ会会員の皆様への広報、親睦、公益活動及び丸山記念奨学金、桂葉奨学金をはじめとする三田高校への貢献等の財政基礎として、皆様からの維持会費、新入会員からの入会金は土地賃貸収入と共に柱となっております。維持会費の納入方法につきまして、郵便振替と銀行振込の併用した方式が定着してきておりご協力に深く感謝いたします。

諸物価高騰の折、経費を節約するのは容易ではありませんが、100周年に向け、より効率的な運営、ITを活用した新しい会員のための事業を充実させ、ワカバ会発足以来の「卒業生は母校とともに発展する」を実現できる会務を遂行するため努力いたします。一層のご協力ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長 平山 孔嗣 (29-2)
片山 優子 (19-2)
上田みつ子 (28-5)
吉寄 文保 (58-6)

企画委員会

企画委員会では毎年多様な行事を企画・実施しており、お蔭様で幅広い層の会員の方から大変好評をいただいております。コロナ禍で実施を見送っていた行事もほぼ復活し、今年度も多くの行事を企画しました。

- 1) 第6回歴史を巡る旅 真鶴散策 2024年7月2日(火)
- 2) 第2回女流義太夫演奏会8月公演 2024年8月31日(土)
- 3) 第21回同窓会ギャラリー HP上での開催 2024年9月10日(火)~9月17日(火)
- 4) 第10回東京ステーションホテル見学会&ランチ 2024年10月4日(金)
- 5) 第41回親睦ゴルフ会 2024年10月17日(木)
- 6) 第8回日銀・貨幣博物館見学会(ランチなし) 2024年10月25日(金)
- 7) 第7回東海道を歩こう(茅ヶ崎〜大磯) 2024年11月7日(木)実施予定
- 8) 第29回ワカバ会観劇会 前進座公演「雪間草ー利休の娘お吟ー」 2024年11月9日(土)実施予定
- 9) 第2回JAZZボーカルコンサート2024 2024年11月16日(土)実施予定
- 10) 第30回ワカバ会観劇会明治座「11月花形歌舞伎」 2024年11月22日(金)実施予定
- 11) 第7回迎賓館赤坂離宮見学会 2024年12月6日(金)実施予定
- 12) 第31回ワカバ会観劇会 宝塚歌劇団 花組公演 2024年12月13日(金)実施予定
- 13) 第32回ワカバ会観劇会 ミュージカル「レ・ミゼラブル」 2024年12月25日(火)実施予定
- 14) 第33回ワカバ会観劇会「新春浅草歌舞伎」 2025年1月10日(金)実施予定
- 15) 第11回オペラ鑑賞会 藤原歌劇団公演「ファルスタッフ」 2025年2月1日(土)実施予定
- 16) 第7回ちよだ芸術祭グランドフィナーレ 2025年2月23日(日)実施予定
- 17) 第34回ワカバ会観劇会 劇団四季「アラジン」 2025年3月29日(土)実施予定

委員長 志田 雄啓 (46-1)
内堀りえ子 (24-1)

2024年度収支予算

自2024年4月1日至2025年3月31日

(単位：円)

科 目	2023年度予算額	2023年度決算額	2024年度予算額	備 考
収入の部				
1. 財産運用収入				
財 産 利 息 収 入	2,000	1,569	2,000	
2. 会費・入金会収入				
入 会 金 収 入	400,000	278,000	300,000	入会者減
維 持 会 費 収 入	7,500,000	6,482,000	6,500,000	
3. 事業収入				
総 会 費 収 入	0	0	300,000	
商 品 売 上 収 入	60,000	217,582	200,000	
土 地 賃 貸 収 入	8,184,000	8,246,433	8,184,000	
4. 寄付金収入				
寄 付 金 収 入	0	710,300	0	
5. 雑収入				
雑 収 入	0	116,220	0	
6. 繰入金収入				
公益目的支出準備金繰入金収入	800,000	800,000	5,200,000	
当期収入合計 (A)	16,946,000	16,852,104	20,686,000	
前期繰越収支差額	3,791,358	3,791,358	925,382	
収入合計 (B)	20,737,358	20,643,462	21,611,382	
支出の部				
1. 事業費				
総 会 報 発 行 費	80,000	218,961	1,600,000	
会 行 報 事 業 費	5,500,000	5,666,339	5,750,000	
行 記 念 事 業 費	180,000	213,667	200,000	
商 品 学 企 画 費	720,000	785,340	720,000	100周年準備
奨 地 学 金 支 出 費	100,000	273,557	160,000	
土 地 賃 貸 直 接 事 業 費	1,700,000	1,340,000	1,460,000	
給 与 交 手 業 費	2,600,000	3,060,378	3,000,000	
旅 費 与 交 手 業 費	3,150,000	3,464,492	3,500,000	
通 勤 交 手 業 費	70,000	74,966	56,000	
消 耗 品 搬 入 費	350,000	392,847	406,000	
通 信 運 製 搬 入 費	84,000	88,687	84,000	
通 信 運 製 搬 入 費	182,000	177,754	182,000	
印 刷 費 徴 収 理 費	154,000	123,816	140,000	
会 情 報 徴 収 理 費	140,000	19,219	35,000	
会 情 報 徴 収 理 費	420,000	656,629	420,000	
会 情 報 徴 収 理 費	280,000	328,150	315,000	
光 租 公 課 費	70,000	54,235	70,000	
公 租 公 課 費	10,000	7,420	10,000	
公 租 公 課 費	105,000	201,103	105,000	
雑 渉 外 費	40,000		40,000	
2. 管理費				
給 与 交 手 業 費	1,350,000	1,484,782	1,500,000	
旅 費 交 手 業 費	30,000	32,128	24,000	
通 勤 交 手 業 費	150,000	168,363	174,000	
消 耗 品 搬 入 費	36,000	38,008	36,000	
通 信 運 製 搬 入 費	78,000	76,180	78,000	
通 信 運 製 搬 入 費	66,000	53,064	60,000	
印 刷 費 徴 収 理 費	60,000	8,236	15,000	
会 情 報 徴 収 理 費	180,000	281,413	180,000	
会 情 報 徴 収 理 費	120,000	140,636	135,000	
光 租 公 課 費	30,000	23,243	30,000	
公 租 公 課 費	0	3,180	0	
公 租 公 課 費	45,000	86,187	45,000	
雑 渉 外 費	0	10,000	0	
3. 固定資産取得支出				
什 器 備 品 費	200,000	165,100	200,000	
4. 目的預金積立支出				
記 念 事 業 積 立 金 繰 入	0	0	0	
5. 予備費支出				
予 備 費	100,000	0	100,000	
当期支出合計 (C)	18,380,000	19,718,080	20,830,000	
当期収支差額 (A)-(C)	-1,434,000	-2,865,976	-144,000	
当期繰越収支差額(B)-(C)	2,357,358	925,382	781,382	

ワカバ会丸山記念奨学金は10名、桂葉奨学金は1団体と個人3名に給付

三田高校在校生への2つの奨学金制度「ワカバ会丸山記念奨学金」と「桂葉奨学金」は一般社団法人ワカバ会の主要な公益事業です。

「ワカバ会丸山記念奨学金」は6月の理事会で2024年度の奨学生10名を決定しました。7月に半年分(6万円)を本人に手渡しました。今年度は8名募集したところ、応募者は12名でした。奨学金委員会で、本人の応募理由、担任の先生の推薦文を審査した結果、1年生3名、2年生1名、3年生6名の10名を奨学生に選びました。ワカバ会会員から奨学金用に寄せられたご寄付により当初予算より2名多く給付することができました。

第5代校長百田次朗先生のご遺族からのご寄付で設立した夢サポート「桂葉奨学金」は受験、留学、部活、研究等、幅広い分野を対象とし夢実現を支援するための制度です。今年度は1団体、個人7名の応募があり、願書には各志願者の熱い気持ちが込められていました。奨学金委員会で慎重に審査し、同じく6月の理事会で吹奏楽部と個人3名に決定しました。給付額は内容に応じて配分しました。桂葉奨学生の成果報告は次号会報に掲載の予定です。

ワカバの輪

三田フィルハーモニーオーケストラ
第32回定期演奏会に参加して

三田44-7 門屋 綾子(後藤)



©Takashi Fujimoto

三田高校管弦楽部の卒業生が集まり、演奏活動を開始したことから発足した三田フィルハーモニーオーケストラですが(今ではOB以外も参加)、1992年以降、年1回の演奏会を続け今年は32回目となりました。

私は、第1回目の演奏会から参加しており、途中出産や育児でお休みした期間はあるものの、他の団員のおかげで30年以上楽器を弾き続けています。

本番までの練習に同じ部活だった仲間と一緒に食事してから行くことや、毎年必ず演奏会を聴きにしてくれる高校の友人達に会うのもまた参加している楽しみの1つです。今年はもう1つ、大学生になった娘がメンバーに加わり、一緒に演奏することが出来ました。

第1回開催時は今の娘と同じく大学生だった私たちが30年以上演奏会を続けられたのも、楽しみに聴きにきてくださる皆様のおかげです。

来年、5/25(日)大井町のきゅりあんで演奏会の開催が決まりました。ぜひワカバ会の皆様もお越しいただければ嬉しいです。

Information

初夢チャリティーコンサート

新年を「ウィーンの音楽」で幕開けする素敵なコンサートを続けて25年目をむかえます。今回のゲストは声優・歌手として活躍している、本名陽子さん。「カントリー・ロード」などお楽しみください。そして次世代を育てる為に小中高生たちの演奏もあります。どうぞご期待ください。

日 時／2025年1月4日(土)

会 場／大田区民ホール アプリコ

(蒲田駅東口より徒歩3分)

開 演／14時(開場 13時) 予定

演 奏／東京ユニバーサル・フィルハーモニー管弦楽団 ほか

指 揮／松岡 究

問合せ／田中節子(宗近) (三田10-5)

電話・FAX 03-3761-0980

ゲスト／本名 陽子(ほんな ようこ) 声優 歌手

本名陽子さんは、4歳から中学卒業まで子役として多くのドラマ、映画、舞台、CMなどに出演。

1991年、中学1年の時にスタジオジブリ「おもひでぽろぽろ」で声優デビュー。1995年には同じくスタジオジブリ「耳をすませば」で主人公の月島雫役を演じました。

主題歌「カントリー・ロード」での美しい歌声は多くの人たちに元気と感動を与え続けています。その後、アニメ「ふたりのプリキュア」初代キュアブラックを担当。大ヒットとなりました。

映画「ショコラ」の日本語吹き替えや、スタジオジブリ「猫の恩返し」にも出演。声優、女優、歌手、ナレーターとして第一線で活躍されています。

三田フィルハーモニーオーケストラ第33回定期演奏会

2025年5月25日(日) 昼公演

会 場：きゅりあん8階大ホール(品川区立総合区民会館)

指 揮：田中 健

曲 目：L.v. ベートーヴェン / 交響曲第5番「運命」 J.S. バッハ(齋藤秀雄編曲) / シャコンヌ 他

詳しくは
三田フィルHPを
ご覧ください



4月に都立国際高等学校から三田高等学校に着任いたしました、副校長の小林成行です。よろしくお願いします。その前の6年間は、都と区市町村の教育委員会に勤務しておりました。

ワカバ会の皆様におかれましては、日頃より教育活動に際してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。特に各種の奨学金のについて多大なるご支援を賜り、生徒の教育活動の充実に貢献されております。

令和6年度は年度当初より、昨年度までは様々な活動に対する制限や配慮事項もございましたが、年度当初の入学式に始まり、体育祭・文化祭、ブリティッシュヒルズや部活動合宿といった宿泊行事も、現在のところ無事、実施できています。

また、6月から最高気温が30度を超え、非常に暑い夏でした。またゲリラ雷雨も多く発生し、その都度、雨漏りの心配をすることになりました。

彼岸を過ぎて、ようやく秋の気配を感じることができるようになると、3年生はいよいよ受験シーズン本番となります。体調管理に気を付けて、頑張ってくださいと思います。

2023年度維持会費納入者

前号(95号)にて2023年度維持会費を納入いただいた方のリストを掲載いたしましたが校了日の関係で、2023年3月16日以降に納入くださった方の氏名を掲載することができませんでした。改めてここに掲載させていただきます。ご協力ありがとうございました。(敬称略)

《第六》【15回】大塚佐和子

《三田》【2回】筒井啓子 【7回】大野笑子 【9回】森山勇 【10回】飯塚懐子 【11回】成瀬忠 【12回】内藤千鶴子 【12回】伊豫田美智子 【14回】鷺見三恵子 【17回】御手洗哲也 【22回】小田原洋子 【24回】吉野淳二 【26回】鈴木佳子 【27回】湯沢(Ress)千砂子 【27回】大山恵子 【28回】坪井明男 【32回】野口徳子 【33回】安田菜穂 【35回】嶺直利 【36回】大碓善一郎 【36回】有井孝子 【38回】松原幹子 【40回】桜井義徳 【48回】菊田みどり 【49回】安間尚子 【73回】横田愛子

追悼 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

(敬称略)

9月12日までにご連絡を下さった方を掲載しています。

《第六》		卒業回・組	逝去年月
中野	イヘ	(神田)	10-オ 2024. 3
小林	和子	(乗)	14-イ 2023.12
嶋田	ヤエ	(重松)	15-イ 2019. 9
大塚	佐和子	(鈴木)	15-エ 2023. 4
菅野	晴子	(白井)	16-ア 2024. 4
野田	迪子	(大須賀)	16-エ 2023. 4
細谷	芳子	(藤井)	17-イ 2022. 3
錦織	糸み	(室谷)	17-オ 2023. 5
江尻	光子	(西沢)	18S-ウ 2023.11
中原	紀子	(和泉)	18S-エ 2023.12
古賀	説子	(野口)	18S-オ 2024. 1
友野	節子	(遠藤)	18-ウ 2023. 4
坂下	道子	(小坂橋)	19-ア 2024. 3
井上	歌子	(村松)	19-ア 2023.10
刈部	典子	(須田)	19-ウ 2023.10
高木	喜久代	(林)	19-オ 2019.11
芳野	道子	(松本)	19-オ 2023. 7
金子	富美子	(望月)	19-オ 2021.11
杉山	敬子	(久保田)	20-イ 2023. 4
水間	昭子	(林)	20-イ 2021.11
吉野	由美子	(山野)	21-ア 2022.12
新納	淑子		21-イ 2024. 3
篠崎	節子	(中庭)	22-ウ 2024. 2

《三田》		卒業回・組	逝去年月
中山	皎子	(市村)	2-1 2023.12
遠山	圭子	(桜井)	2-1 2021. 1
根岸	満里子	(山本)	2-1 2024. 4
八戸	敬子	(寺田)	2-2 2024. 3
賀来	登美子	(北方)	2-3 2010.11
金子	治子	(久保田)	2-3 2023. 5
水野	和子	(三浦)	2-4 不明
斗光	綾子		3-2 2023.11
崎村	和子		3-3 2024. 3
由井	花子	(片岡)	3-4 2024. 2
東	久子	(間宮)	3-4 2023. 5
御宿	弥寿子	(若杉)	3-6 2024. 1
中込	延子	(國友)	4-2 2022. 5
松坂	エフ	(佐藤)	4-3 2024. 4
長谷川	千佳子	(須賀原)	4-3 2024. 3
浜中	喜代子	(高岡)	4-4 2024. 8
仲沢	陽子	(栗太)	5-3 2023.10
土屋	善彦		6-3 2019- 7
田口	美智子	(前田)	7-3 2023.11

		卒業回・組	逝去年月
青木	宏泰		7-7 2024. 8
沖山	寛子	(山崎)	8-1 2024. 4
岩井	幸子	(島田)	8-3 2024. 3
吉田	宏		8-6 2023. 1
関	和子	(石田)	8-7 2024. 4
渡辺	孝子	(市岡)	10-3 2023.11
藤井	昌子	(太田)	10-6 2023.12
安藤	晴朗	(小林)	11-4 2021. 3
小藤	久輝		11-5 2024. 3
鈴木	照夫		11-5 2024. 1
宇田川	トミ子	(大江)	12-2 2023.12
福島	幸子	(井上)	14-6 2017. 5
荻田	芳子	(遠藤)	14-6 2023.12
矢部	サト子	(田辺)	16-2 2021.10
齋藤	義昭		16-6 2015.11
田宮	美恵		17-2 2023.12
小町ニール	ルガ恵子	(小町)	19-3 2023.11
角野	仁基		29-6 2021. 4
杉山	桂一		30-7 2020. 9
撫佐	克美	(山本)	36-2 2023. 1

表紙デザインは秋山具義さん(37-4)



今号の表紙も、マルちゃん正麵のパッケージやAKB48のCDジャケットなどを手掛けたアートディレクター秋山具義さん(三田37-4)のデザインです。秋山さんはこの度、パリ2024オリンピックのフェンシング日本代表ユニホームのロゴをデザインされました。太ももの外側に「JAPAN」の文字と赤の日の丸がデザインされたユニホームは、金メダル2個を含む5つのメダルを獲得し大躍進を遂げた縁起のいいデザインと反響が集まっています。

事務局だより



ワカバ会
プライバシー
ポリシー

- ♥ ワカバ会ではプライバシーポリシーを定めております。ホームページに掲載しておりますのでQRコードよりアクセスしご確認ください。
- ♥ 同期会・クラス会のための名簿・宛名ラベルを幹事の方にのみ、有料で提供しております。当会所定の申込書に幹事2名の氏名・連絡先、開催日、同期会・クラス会開催目的以外に名簿を使用しない旨の誓約を記入し提出していただきます。
- ♥ 同期会・クラス会の幹事への情報提供または会報(維持会費納入者リスト)への氏名掲載を希望されない場合にはその旨をワカバ会事務局までご連絡ください。速やかに対応させていただきます。
- ♥ ホームページに「同期会のお知らせ」のコーナーを作りました。お知らせご希望の方は事務局までご連絡ください。
- ♥ Instagramを開設しました。ページ下部のQRコードよりアクセスしフォローをお願いします。

編集後記

まずはじめに、このたび再度の災害に見舞われた能登半島の皆さまの無事と安全を願っております。いきなりですが「同窓会って何ですか」という疑問は、役員や理事の中からは出てにくい疑問ですが、最初から入会しない卒業生もいる現在、考えていかなければならない話題なのだと思います。改めて考える一年にしたいと思います。(HT)

ご寄付御礼

☆三田24回生古希同期会一同様より
☆匿名希望の方より4件

20,635円
313,000円

…以上のご寄付をいただきました。奨学金ならびに会の運営のために使わせていただきます。ありがとうございました。

●維持会費の納入にご協力ください!!

ワカバ会は皆様の会費で運営されています。維持会費の納入にご協力くださいますようお願い申し上げます。年額2,000円です。毎年年度末(3月末)までに納入ください。**振込用紙が同封されていない方は今年度の維持会費は既にいただいております。**下記のいずれかの方法で納入をお願いいたします。(振込手数料はご負担をお願いします)

1. 宛名用紙の払込取扱票を切り離して、郵便局で払込みをお願いします。

2. 銀行振込

銀行振込口座 口座名義「一般社団法人ワカバ会」

以下のいずれかの銀行口座に振り込みください。その際、振込依頼人名の先頭に会員番号*をつけていただきますようお願いいたします。

みずほ銀行 芝支店 普通 4736868

三井住友銀行 三田通支店 普通 7158979

三菱UFJ銀行 田町支店 普通 4538524

ゆうちょ銀行 ○一九店 当座 0081170
(ゼロイチキョウ)

※会員番号は宛名用紙表面に印刷されているお名前の下にある(●●●●●●●●●●)です。
#@@@@@は郵送の際の整理番号なので会員番号ではありません。お間違いのないようお気を付けください。

ワカバ会オリジナルグッズ

お申し込みは、電話・FAX・E-mail にて、事務局まで
※柄、色によって在庫がないものもあります。ワカバ会までお問合せください。

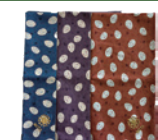


★裏返っても元通り!!
耐風折傘
大判65cm・
グラスファイバー骨
各950円

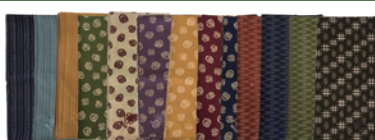
校章ストラップ
(黄色、シルバー、
ブロンズ)
各450円



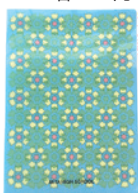
NEWバンダナ
和柄とチェック
各700円



NEWバンダナ兎柄
各700円



バンダナ 各600円



なでしこ
クリアファイル
100円



NEW
ナチュラル
リネンマフラー
各1,500円

ミニタオル
ハンカチ
各400円

タオル
マフラー
各900円

ハローキティ
根付
650円
(寄付込1,000円)

青紫 ワイン ピンク からし



青 紫 桃色 オレンジ



3色4芯
ボールペン
200円



メタル
ボール
ペン
各200円

レターセット
各150円
一筆箋 各100円
クリアファイル
各50円

会報わかば96号



府立第六高等女学校・都立三田高等学校同窓会
一般社団法人ワカバ会

〒108-0073 東京都港区三田1-4-46

TEL: 03-3451-0227 FAX: 03-3452-4590

時間: 午前10時~午後4時 休日: 金曜・土曜・日曜・祝祭日

E-mail: t-mita@wakaba-kai.org HP: www.wakaba-kai.org/

表紙デザイン / 秋 山 具 義 (三田37-4)
紙 面 構 成 / 一 色 秀 司 (三田35-3)



◆ワカバ会ホームページ



◆ワカバ会 X (旧Twitter)



◆ワカバ会 Instagram

ワカバ会

Q 検索